

松江市高齢者福祉計画 第8期介護保険事業計画（概要）

令和3年度 ▶ 令和5年度

計画の施策体系



8期のポイント

中長期的視点に立った計画策定
 団塊の世代が全て75歳以上となる2025年、団塊ジュニア世代が65歳以上となり高齢者数がピークを迎える2040年などを見据え、中長期的な推計を行います。

災害・感染症対策
 近年激甚化する自然災害や、新型コロナウイルス感染症（covid-19）など未知の感染症に備え、中核市として、保健所設置のメリットを最大限活かした計画とし、松江市地域防災計画等とも整合性を図った計画とします。

入所施設の新規整備は原則行わない
 ①入所施設の定員数が全国平均より高いこと、②サービス付き高齢者向け住宅の増加に伴い特養待機者数が減少傾向にあること、③介護人材確保等の観点から、新たな入所施設は整備しません。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
 高齢者の特性を踏まえ個人の状態に応じた支援につなげるため、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施します。

総合事業の見直し
 介護予防・日常生活支援総合事業の従前相当型サービスを緩和型サービスへ移行し、自立支援を強化した内容に見直します。

計画の考え方

理念 地域でともに支えあい いきいき暮らせる まちづくり	1 健康づくりと介護予防の推進 (健康寿命の延伸) 健康づくりを通じた介護予防や、地域で支え合い「いきいきと」暮らすことができるよう、「健康寿命をのばす」という共通した視点で各種施策に取り組みます。	2 多様なニーズに対応した介護サービスの提供 医療・介護・福祉・住まい・生活支援が一体的に推進される「地域包括ケアシステム」実現のため、多様な主体によるサービス提供が展開できるよう、共生社会を視野に入れた施策を進めます。	3 認知症施策の推進 認知症の方が、尊厳と希望を持って暮らすことができ、認知症の有無に関わらず同じ社会で生きる「共生」と、認知症になるのを遅らせ、進行を緩やかにする「予防」の取り組みを進めます。	4 介護人材の確保 2025年、2040年に向け、介護人材のニーズが量・質ともに増加する一方、生産年齢人口は徐々に減少に向かいます。国・県・市・事業所それぞれが連携しながら、中・長期的な視点で人材確保策に取り組みます。	
	目標 幸福度が高い人の割合増加 令和元年度 44.3% ▶ 令和5年度 50.0%	目標 要介護認定者数の割合を抑制 令和元年度 20.1% ▶ 令和5年度 20.3% (自然体推計20.4%)	目標 住みやすさの実感割合増加 令和元年度 82.2% ▶ 令和6年度 95.0%	目標 認知症に関する相談窓口を知っている人の割合増加 令和元年度 29.2% ▶ 令和5年度 60.0%	目標 介護職員の求人に対する雇用の割合増加 令和元年度 15.0% ▶ 令和5年度 25.0%
	自分が健康だと感じる人の割合増加 令和元年度 75.4% ▶ 令和5年度 80.0%	健康寿命の延伸 平成29年度 女性21.05年 男性18.00年 ▶ 令和6年度 女性 21.66年 男性 19.06年	要配慮者支援組織の世帯カバー率 (%) 令和元年度 37.9% ▶ 令和5年度 70.0%		

給付費等の見込み

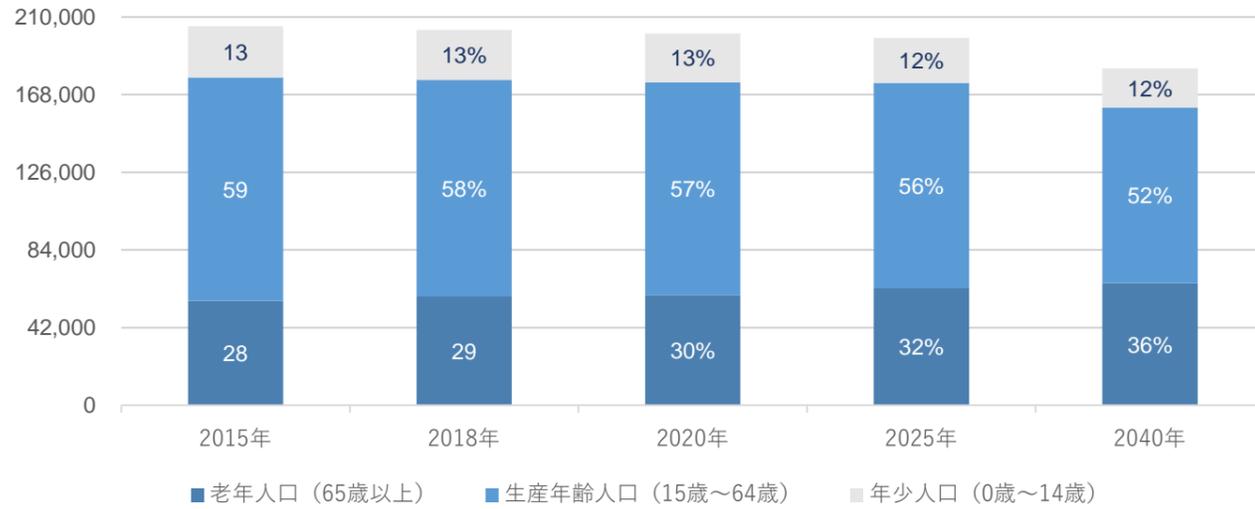
給付費	令和元年度 17,938,339千円	▶	令和5年度 20,355,628千円
地域支援事業費	令和元年度 981,253千円	▶	令和5年度 1,215,412千円

パブリックコメントの結果

令和2年 11月26日 木	▶	令和2年 12月25日 金
意見提出 3名		意見総数 4件

松江市高齢者福祉計画 第8期介護保険事業計画 資料編 (抜粋)

総人口・年齢区分別人口

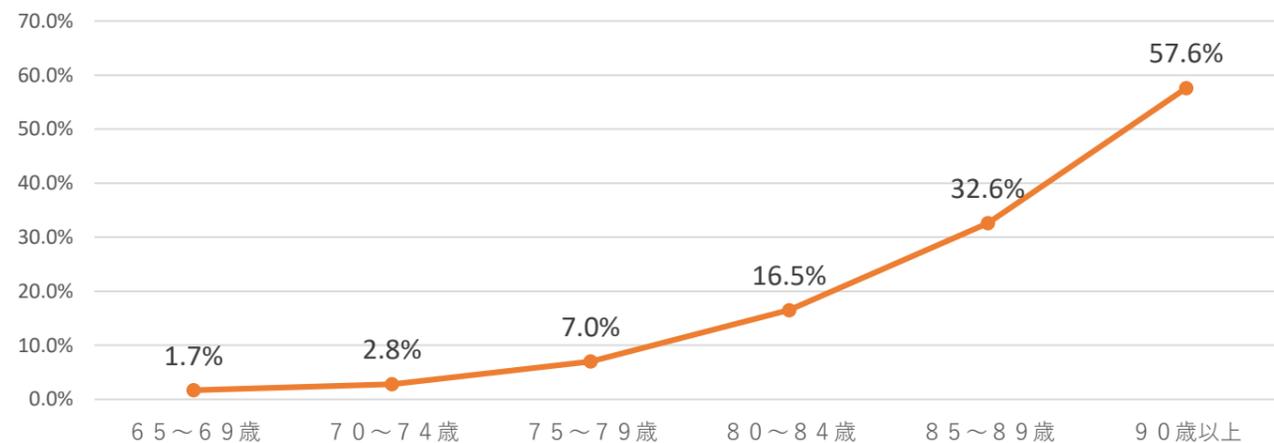


	2015年	2018年	2020年	2025年	2040年
老年人口(65歳以上)	56,571	58,713	59,511	63,306	66,032
うち前期高齢者人口(65歳~75歳)	27,455	27,964	28,028	25,524	26,297
うち後期高齢者人口(75歳以上)	29,116	30,749	31,483	37,782	39,735
生産年齢人口(15歳~64歳)	120,748	117,270	115,073	110,991	94,860
年少人口(0歳~14歳)	27,641	27,046	26,437	24,307	21,163
総人口	204,960	203,029	201,021	198,604	182,055

※推計値は、日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、2018(平成30)年3月推計)を参考。

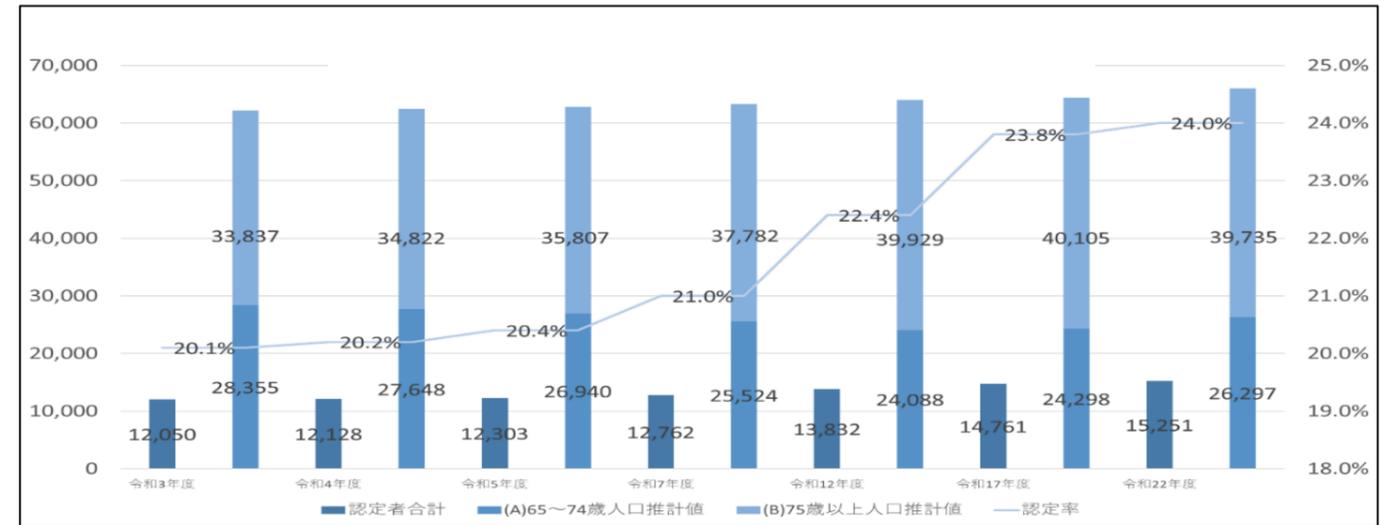
2025年に団塊の世代が全て75歳以上となり、2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上となります。

認知症出現率(H31年時点)



80歳以上の認知症出現率が高いことに影響を受け、2025年以降の認知症数は急増することが推計されます。

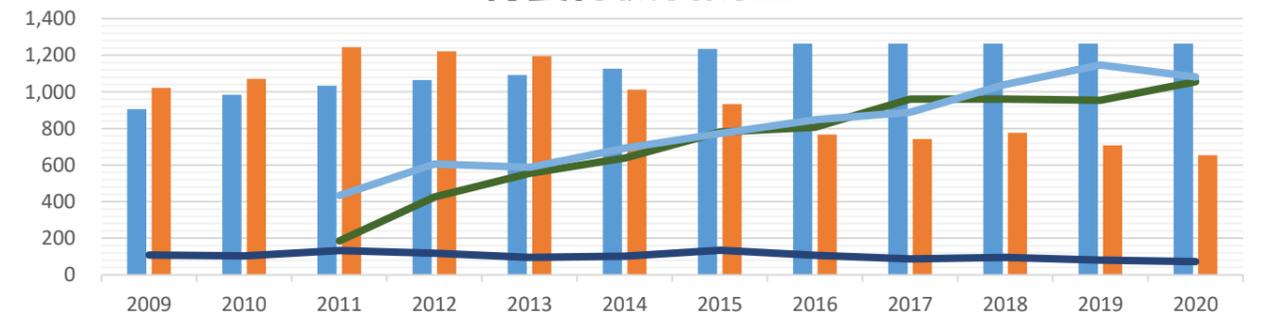
認定者数と認定率の推移



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2025年	2030年	2035年	2040年
要支援1	1,698	1,733	1,775	1,776	1,787	1,798	1,814	1,865	2,004	2,088	2,071
要支援2	1,283	1,434	1,760	1,776	1,943	2,007	2,041	2,111	2,271	2,394	2,422
要介護1	2,966	2,993	2,714	2,701	2,571	2,535	2,578	2,671	2,910	3,116	3,184
要介護2	1,837	1,875	1,849	1,902	1,900	1,908	1,922	2,000	2,180	2,350	2,468
要介護3	1,367	1,356	1,321	1,327	1,291	1,306	1,326	1,384	1,502	1,631	1,734
要介護4	1,517	1,478	1,533	1,554	1,539	1,529	1,556	1,621	1,768	1,912	2,019
要介護5	1,039	1,013	1,010	1,012	1,019	1,045	1,066	1,110	1,197	1,270	1,353
認定者合計	11,707	11,882	11,926	12,047	12,050	12,128	12,303	12,762	13,832	14,761	15,251
認定率	20.0	20.2	20.1	20.2	20.1	20.2	20.4	21.0	22.4	23.8	24.0

要介護認定者数は、第8期計画期間中の3年間に3.9%増加し、その後も着実に増加していくことが推計されています。

特養待機者調査



	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
特養整備ベッド数	905	984	1,034	1,064	1,093	1,127	1,235	1,264	1,264	1,264	1,264	1,264
特養申請実人数	1,022.0	1,071.6	1,244.0	1,222.3	1,195.2	1,011.8	933.6	766.1	742.6	777.1	707.3	653.8
特養待機者数※1	107.96	103.46	132.02	118.46	95.83	100.83	134.20	106.92	86.48	95.45	80.97	72.71
サ高住整備戸数(累積)			185	425	555	639	781	807	960	960	954	1,056
有料老人ホーム定員数(累積)			434	605	588	692	773	848	889	1,040	1,147	1,082

※1 待機者数は自宅待機でかつ要介護度4・5のうち、高齢者単独世帯+高齢者のみ世帯の計